

令和8年3月16日

PTA会員各位

野田市立山崎小学校PTA

PTA会長 常盤 臣

## 令和7年度 山崎小学校PTA 臨時総会 (書面決議) の結果報告 およびご意見への回答について

日頃より山崎小学校PTAの活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和8年3月2日付でご案内いたしました臨時総会 (書面決議) につきまして、PTA規約および事前のご案内に基づき、下記の通り決議されましたのでご報告いたします。

### 1. 決議結果の概要

期限までに回答のなかった会員様については「承認および議決権の委任」があったものとして集計いたしました。その結果、いずれの議案も反対が過半数に達しなかったため、原案通り可決されました。

- 会員総数: 313名
- 総回答数: 157名
- 未回答 (委任) 数: 156名

### 各議案の採決内訳

議案内容	賛成 (委任含む)	反対	無効
議案第1号 普通教室カーテンの新調および積立金の取崩し	311 (うち委任 156)	1	1
議案第2号 積立金制度の廃止と単年度会計への移行	310 (うち委任 156)	2	1

### 2. 今後の実施予定

- **カーテンの新調:** 令和8年3月下旬～4月初旬の春休み期間中に、全16教室の施工を実施いたします。
- **会計の移行:** 次年度より「単年度会計」を基本方針とし、透明性の高い予算運用を開始いたします。

### 3. 皆様からいただいたご意見・ご質問への回答

書面決議の際、多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見すべてに回答させていただきます。

#### 【部活動・設備に関するご意見】

意見: 陸上部のユニホームが市内の小学校と比べると山崎小だけボロボロです。PTA会費などで新しくできないのでしょうか？

回答: 山崎小学校には3つの部活動があり、PTA会費からは各活動へ一定額の補助を行っております。しかし、部活動は児童が任意で参加するものであるため、非加入児童や他の部活動との「予算配分の公平性」を維持する必要があります。高額なユニフォームの一新をPTA会費のみで賄うことは、現在の予算規模では難しく、慎重な判断が求められます。部活動の充実と公平な予算運用のバランスについては、今後も検討課題とさせていただきます。

意見: 直してほしい所がたくさんあるので、子供の安全面を考えても、後回しにしないでそういった所の修繕費にしてほしいです。例えば、体育館倉庫の天井、部室の天井には穴があいていていつ崩れてきてもおかしくないと思います。あと、長机ですが、脚がしっかりしていなく使えない物が殆どですので、新しい物にしていただけるとありがたいです。モップも新しい物に替えた方がよさそうです。今パッと思いつくのはこのくらいですが、またあると思うので宜しくお願い致します。

回答: 施設・備品の詳細な情報をありがとうございます。大変参考になります。本来、学校設備の修繕は公費で行われるべきものであり、今回のご意見は学校側へ共有し、行政へ強く改善を求めてまいります。今回のカーテン新調は、学校側と協議を重ね「今すぐ改善が必要かつ、多くの児童に恩恵があるもの」として優先順位を判断いたしました。今後も、安全面を最優先に、学校と協力して改善に努めます。

#### 【活動方針・会計へのご意見】

意見: 「今の子供達のために」という考え、とても良いと思います

回答: ご賛同いただきありがとうございます。PTAは役員が年単位で交代する組織です。従来「将来のために積み立てる(今の子どもたちの便益を先送りする)」体質を見直し、「今お預かりしている会費は、今の子どもたちのために最大限活用する」という単年度会計の原則を徹底することで、より透明で納得感のある組織を目指してまいります。

意見: 今まで、いくら徴収して何に使っていたかなんて全然把握していませんでしたが、こういった改善で関心をもつようになりました。明確な使い道を知ること、改めて子供達が有意義に過ごせるように協力していけたらと思います。

回答: 非常に心強いお言葉をありがとうございます。会費の使い道に興味を持っていただくことこそ、私たちの願いです。お預かりした大切なお金を、いかに有意義に、かつ信念を持って子どもたちのために使えるか。今回の決議をスタート地点として、これからもオープンな運営を続けてまいります。

意見: 今の子どもたちのために、より良い体験、経験を与えられる様にお願ひ致します。

回答: ありがとうございます。山崎小PTAが掲げるミッション（使命）とビジョン（将来像）に基づき、子どもたちが多様な体験・経験を得られるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

### 【運営・手続きに関するご意見】

意見: 施工業者の決定に際し複数社から選定したのですか？

回答: はい。市内業者2社への見積依頼に加え、オンライン販売サイトでの価格調査を行い、施工費・品質・納期のバランスが最も優れた業者を選定いたしました。今後はさらに透明性を高めるため、RFP（提案依頼書）を用いて各社から同条件で提案を受ける仕組みの導入など、より精緻な選定プロセスを構築していきたいと考えております。

意見: やり方が次から次へとかわりついて行けない。賛成、反対したところで本部が提案したらそれはもう決まっている事だと思っています。だからどちらとも言えないし、どっちでもいいです。必須だから一応反対にしていますが・・・決まった事に従うしかないと思っています。同じ考えの人結構いると思いますよ

回答: 率直なご意見をいただき、ありがとうございます。「本部案は既に決まったこと」と感じさせてしまった点は、真摯に受け止めさせていただきます。しかし、PTAは会員の皆様の承認があって初めて動ける組織であり、今回の反対票や厳しい意見も、運営を正すための貴重なブレーキとして尊重しております。幸いにも、今回は圧倒的多数の賛成をいただき、提案への理解が得られたと認識しておりますが、今後も「形式的な決議」にならないよう、丁寧な説明と合意形成に努めてまいります。

意見: 公費で賄われるべきカーテンの新調にPTA会費を使うことに反対します。業者選定の決定に至った説明(利害関係の有無)、金額妥当性(相見積、査定等行ったか?)など、判断に至る説明責任がなされていないため、民間の会社稟議で考えると到底承認できない内容です。まずは公費で改修頂くことを学校に働きかけることが本来のPTAの活動ではないかと考えます。ただし、使途不明となる積立金を使い、将来に残さない考えは否定しません。それは減り続けるであろうPTA会費に対して段階的にPTA活動の不足金補填し、その間にPTA活動の変革を進めることを望みます。

回答: ご指摘の通り、説明が不足していた点についてお詫び申し上げます。業者選定は相見積もり及び市場調査に基づき、利害関係のない公平な選定を行っております。また、「公費で賄うべき」という点については、私も全く同感です。私はこれまで野田市立小中学校PTA連絡協議会(市P連)を通じて、野田市に対し「PTA会費による公費補填の解消」を求める要望書の提出や、シンポジウム(市P連および県P連)での発表(<https://yamazaki-pta.com/archives/702>)など、行政への働きかけを継続して行ってまいりました。その上で、行政の動きを待つ間にも劣化していく子どもたちの環境を「今すぐ」改善するため、今回の苦渋の決

断に至りました。こうした「旧態依然とした構造」を本質から変えていくため、ぜひ本部活動に参画いただき、その知見を貸していただけないでしょうか。共に変革を進められることを願っております。

### 【感謝の声】

意見：カーテン更新ありがとうございます。

回答：関心をお寄せいただきありがとうございます。子どもたちが明るい気持ちで新学期を迎えられるよう、準備を進めてまいります。

意見：いつもありがとうございます

回答：こちらこそ、日頃のPTA活動へのご理解とご協力に感謝いたします。皆様の支えが活動の原動力です。

## 学校運営とPTA活動の持続可能な在り方を求める要望書

野田市立小中学校PTA連絡協議会 御中

拝啓 陽春の候、貴会におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、PTA活動にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども山崎小学校PTAでは、令和7年度より「任意加入」という本来の制度趣旨を遵守する観点から、以下の取り組みを進めてまいりました。

- 個人情報取扱規則・個人情報保護方針の整備
- 学校に一部業務を委任するための業務委任契約書の締結
- 入会届・退会届の整備と周知徹底

これにより、山崎小学校PTAは名実ともに「任意加入」の形態を確立し、各保護者が自らの意思に基づきPTA活動に参加できる環境を整えております。しかしながら、この取り組みを正しく実行した場合、加入率は必ずしも100%に至らないことが想定されます。結果として、PTA最大の財源である会費収入は減少し、それに伴ってPTA活動全般や学校への支援に充当できる予算は縮小せざるを得なくなります。

従来は、PTAが学校備品の購入や学校行事の補助など、学校が本来負担すべき費用の一部を賄うケースが散見されました。しかし、以下の懸念がございます。

- PTAが学校運営費の不足を補い続けると、自治体の予算配分が十分に行われない懸念がある
- 結果として、学校現場はさらにPTAに頼らざるを得なくなり、悪循環を生む
- 他方で、PTAが名実ともに任意加入となり、会費収入が減少すれば、もはや学校運営費を補填し続けることが困難になる

このような状況が進行すれば、学校運営における予算不足が顕在化し、教育環境の充実が阻まれる可能性もございます。本来、学校運営に必要な費用は自治体予算の中で確保されるべきであり、PTAはあくまでも保護者の自主的な活動を目的とする組織です。今後、各小中学校PTAが真に「任意加入」を实践する流れは加速するものと思われませんが、その際にPTAに過度な財政的負担を求める構造が放置されれば、各校の教育活動にも大きな影響が及びかねません。

つきましては、野田市立小中学校PTA連絡協議会に対し、下記事項につきまして強くご要望いたします。

### 1. 学校運営費（備品費・行事費等）の適正な予算確保

PTAが学校備品や学校主体の行事費を恒常的に補填する必要が生じないように、野田市立小中学校PTA連絡協議会から野田市へ、十分な予算を割り当てる方策を検討いただけるよう働きかけをお願いいたします。

## 2. 市の教育行政とPTAの役割分担に関するガイドラインの明確化

各学校がPTAに負担を求める際の線引きを明確に示すガイドラインの作成、また、必要に応じて当事者間の協議の場を設けるなどの仕組みを構築していただきたいと存じます。

## 3. 「任意加入」実現後のPTA活動維持への支援

PTAの財源が大幅に減少することが見込まれるため、保護者主体の自主的な活動が継続・発展できるよう、必要なサポートや制度整備を行ってください。

特に、PTAが実施してきた「学校支援的な活動」(例：学習イベント・卒業生への記念品等)が自治体予算や寄付等でカバーされるような仕組みづくりも検討いただけるよう野田市や関連団体へ働きかけをお願いいたします。

## 4. PTA活動の本来の目的と「親と子・地域を結ぶ」存在意義の再確認

PTAの本質は「子どもたちのために、保護者・学校・地域が協力して教育環境をより良いものにしていく」自主的・自発的な活動であることを尊重していただきたく、野田市立小中学校PTA連絡協議会および野田市をお願いいたします。

私どもは、今後とも子どもたちの健全な成長と学びの充実を願い、PTA活動に尽力してまいります。しかし、それを継続的に支えられる体制を整備するためには、自治体および上位団体（市P連）からの適切な働きかけと支援が不可欠です。野田市の教育行政と各校PTAが協調し合いながら、負のループを断ち切り、より健全で持続可能な仕組みを確立するために、ぜひともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げ、書面にて失礼いたします。何とぞよろしくようお願い申し上げます。

敬具

令和7年3月26日

野田市立山崎小学校PTA  
会長 常盤 臣



